

広報たしろ

No. 317

昭和55年2月号

田代町総務課編集

1,600部発行



山下 保さん 63歳

“体力づくりは

ランニングで”

橋之口の山下さんは、毎朝六時から山下回りと小学校の校庭をランニングしておられます。

ランニングをはじめられて約三年になるそうです。

山下さんいわく、「元気だから走るのか、走るから元

気なのか」と。

人間は、毎日何んらかの運動をしています。しかし、この日常生活における動作は、本当の意味の運動とはいえないようです。

最も効果的で手っとりばやく、しかも安上がりなのがランニングです。しかし、無理は禁物です。

ランニングの効用



主な所得控除一覧表

所得控除の種類	控除額等
基礎控除	29万円
配偶者控除	29万円
老人配偶者控除	35万円
扶養控除	1人 29万円
老人扶養控除	1人 35万円
同居する老親等扶養控除	1人 40万円
障害者控除	1人 23万円
特別障害者控除	1人 31万円
老年者控除	23万円
寡婦控除	23万円
勤労学生控除	23万円
社会保険料控除	支払額の全額
生命保険料控除	(最高)5万円
損害保険料控除	(短期最高)3千円 (長期最高)1万5千円 (合計最高限度)1万5千円
医療費控除	(最高)200万円

昭和五十四年分の贈与税の申告と納税は二月一日から、所得税の確定申告と納税は二月十六日から、それぞれ受付が始まります。この申告と納税の期限は、どちらも三月十五日となっています。

また、所得税は、個人が一月一日から十二月三十一日までの一年間に得た所得にかかる税金です。

は、所得税の確定申告が必要になります。

所得税・贈与税の申告始る

肺がんの死亡をなくそう！

健康のため、吸いすぎに…！(タバコ)

全国の死亡原因の第1位は脳血管疾患(代表的なものとして脳卒中)であるが、30才〜69才までの死因は悪性新生物(がん)である。がんは年々増加の一途をたどり、将来死因の1位を占めることが予想されている。この中で特に肺がんはすでに結核を上まわり昭和50年は死亡数15,869人となっている。これは昭和25年に比べると6倍にふえている。欧米ではすでに男性のがんでは1位となっている(女性は乳がん)。

肺がんは4種類に分けられるがその中で、腺がん、扁平上皮がんがほとんどを占める。腺がんは、煙草と関係なく、扁平上皮がんは煙草と関係が深い。ここで扁平上皮がんにかかりやすい人について記述すると、

男性、40才以上、1日分喫煙本数×喫煙年数が400以上の人。腺がんはレントゲン撮影等でわかるが、扁平上皮がんはわかりにくく、気管支鏡検査、自覚症状(血痰、咳)が早期発見のかぎとなる。近い将来、肺がん検診の確立がなされると思うが、現状の中で早期発見を行うには、一般住民検診(レントゲン撮影)を受けること。血痰、咳等がみられたら、専門医を受診することが大切である。また、できるだけ煙草を減らすことが予防につながり、今日からでも遅くなく少しでも減らす努力をしたいものです。

火葬場の使用料金が

昭和55年4月1日より改正

	種別	現行	改正
組合員	大人	1,000円	2,000円
	小人	700円	1,500円
	改葬等	500円	1,000円
非組合員	大人	5,000円	10,000円
	小人	3,500円	7,000円
	改葬等	2,000円	4,000円

※ 燃料代一体当りに要する経費

125ℓ×62円(54年11月単価)=7,750円

山下・盤山に公民館が完成

むらづくりモデル事業

昭和四十年代末までの高度経済成長のもとで農業農村は、過疎化、混住化、農地のかい廃、農業の担い手の著しい減少と集落機能の低下により大きく変化しつつあります。

この運動のしくみは、集落の話し合い運動とむらづくり事業の二つの柱からなっています。



(盤山の公民館)

山下、盤山にこのほど完成した公民館は、むらづくりモデル事業の一環として建てられました。

最新式の消防車購入

(川原分団)



購入額672万円補助額448万円

自衛官を募集

募集期間

男子(2等陸士・2等海士及び2等空士)

昭和五十五年一月一日〜三月三十一日まで



省エネルギーは

第五の純国産エネルギー

省エネルギーは、五番目のエネルギー源——といわれます。

石油、石炭、天然ガス、原子力に次ぐ「第五のエネルギー」というわけですが、石油の九九・八%を輸入に頼るわが国にとって、省エネルギーは単なる「節約」にとどまらず、国民一人ひとりが生み出す「第五の純国産エネルギー」なのです。

いま、国をあげて五%の石油消費節減に努力していることはみなさんご存じの通りですが、折から暖房用の灯油の需要が増える時期です。

二輪車は

昼までも光るライトで身を守ろう。



品定めして、いま～す。

教育だより

PTA

初めてのバザー開催

大原中学校

本校のPTA事業部では、例年、空ビン回収・種子販売を各二回実施しています。P戸数の少ない現在、PTA予算の収入源として必要な事業で、その収益はすべてPTAの運営や活動費に当てています。

本年度は、さらにP活動を充実・推進するためには、増収が必要だということで、バザーを開催することになりました。

特に、秋の味覚の王者・栄養満点のヤマノイモやキノコに希望者が殺到し、買い手を決めるころには、ジャンケンのかけ声、笑い声に商戦も最高潮、二十分後には全商品が売り切れるほどの盛況でした。

バザー成功に係りも大喜び、空ビン回収や種子販売にない、明るく楽しい事業のひとつとして、

「来年度は、もっと盛大にやりましょう。」

と、語ることでした。



剣舞(剣道部員による)

校内文化祭

昨年の十一月二十日に文化祭が行われた。当日は上天気で何か祝福されるかのような日和だった。

ほとんど生徒会主催で行われたが、もっと充実した文化祭をと昨年の反省から本年は生徒・職員一体となって、綿密な計画内容検討、運営等打ち合わせ会を再々行った。準備、練習は本年度から新設された学裁の時間、放課後等を利用し、時間的にはゆとりがあった。



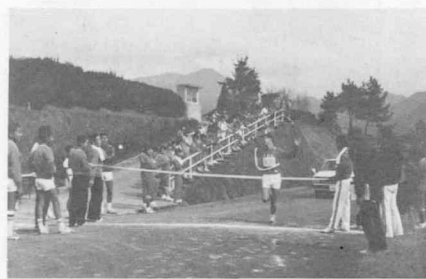
一年劇「水戸黄門」

恒例の校内駅伝も五回目を迎え、その目的・内容ともに生徒たちにも深く理解され、親しみある学校行事として定着してきました。一月十九日、午前十時、朝の冷え込みもさめやらぬ寒空のもと、「駅伝は己れとの戦いである」と言われます。皆さん、最後までがんばりましょう。」と生徒会長の声は一段と力強くひびきました。

さあ、いよいよスタートだ！新記録を目ざして、先輩たちに挑戦しようとする者。

完走を己れの目標とする者。

選手それぞれに、力走が繰り広げられ、加えて生徒会の部対抗形式は一段と大会の雰囲気をもりあげているようでした。



文化部 トップでゴールイン

校内駅伝

けんかは子供につきものです。なかでも、兄弟けんかは毎日のことで、子供にとっては生活の一部といってもよいでしょう。子供はけんかをしながら成長するといえなく



もありません。ですから、人によっては、けんかをささなければ、あるいは物をこわさなければ、ある程度まではムリに止めないでそのままにしておく、という方もいるようです。

兄弟けんか

成長の「心の糧」に

とはいえ、親にしてみれば、目の前のけんかがエスカレートしてくると、放っておくわけにもいかなくなります。むしろかしいのは、その時の「收拾」のしかたです。

けんかは、子供なりの自己主張の表れです。もちろん利己主張も含まれているのですが、けんかとは、主張のぶつかりあいなのです。自分のことばかりでなく、同時に相手の気持ちや立場も考えさせるようにしむ

同時に、相手に対する思いやりの心も育っていきます。いろいろな意味で、子供にとってけんかは、対人関係を学習する機会であり、社会性を身につけていくための「教材」といえます。つまり、仲よくつき合う方法を覚え、自分を反省することを知り、成長への「心の糧」となっていくのです。

ですから、けんかの「收拾」にあたっては、一方的にしかって止めさせたりするのでなく、お母さんはけんかの意味をよく考えてあげてください。

今年の6月末まで！国民年金特例納付
昭和58年7月に開始された無年金者救済のための特例納付制度も、いよいよあと5ヶ月、もう待たなすです。

生活が苦しくてどうしても納められない人は貸付制度を利用してみてはいかがでしょうか。世帯更生資金がお手伝いしますので、役場年金係か、お近くの民生委員さんに御相談なさってください。

(保険料ひと月4,000円)

人口のうごき

基本台帳人口 55年1月1日現在		前月との 増減
男	2,223人	△6
女	2,448人	△5
計	4,681人	△11
世帯数	1,482戸	△2

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

町振興大会

日時 2月26日 10時

場所 開発センター

進んで参加しましょう

二十歳の春祝う 成人式

新春一月三日、田代町開発センターに町内在住者及び正月に帰省した町出身者百四名（該当総数百四十三名、出席率七十二・七％）が集まり成人式が挙行された。



開発センターでの成人式

町長式辞のあと、議長、教育委員長のお祝いのことがあり、町からの記念品がおくられた。式の中で新成人の三人の代表者が感想を発表した。

先づ、牧原美津代さんが「成人式を迎えて」と題して、今日までの成長を見守ってくださった両親やまわりの人々に感謝し、これからの自分に与えられた権利と課せられた義務責任を自覚し、一人歩きできる人間に成長し、心の底にふるさと「田代」を忘れない人間になりたいと決意のほどを述べた。

次に安田憲次さんは「二十才になって思うこと」と題して、自分の仕事に対する誇りと、責任の重大さを自覚し、将来に向かって力強く前進したいと抱負を語った。

最後に、山口礼子さんが「これからの私たち」のテーマで、今日から一人の大人としての自覚をもって一歩一歩着実に歩んでいきたいと感想を語った。

式のあと青年団とグリーンカントリーバンドのアトラクションがあり、記念撮影をした。

今年も例年とおり、華やかな着物姿が見られ「平服」での成人式には遠かったようである。



花のせい
2月すい

らでも多数の田代町出身者が入賞した。

優良賞 田中雄資（南大隅一年）

奨励賞 斜木 靖（田代一年）

鳥淵靖浩（田代三年）

長谷陽一（〃三年）

小野誠二（〃三年）

長谷幹雄（南大隅一年）

〃 西川信八（鹿屋二年）

〃 地区美術展の継続で、第三十

回鹿児島県高校美術展が十二月

二十二日から一月十三日まで鹿

児島市美術館で開催され、こち

姉妹町「与論」より蘇鉄

昭和四十四年六月七日、与論町と本町の姉妹盟約が結ばれて十年を経過した。昨年与論町の町長が新しく就任されたこともあって、この機会に田代町を訪問したいとの申し出があった。

ちようどそのころ田代町では、「あすの鹿児島をつくる県民運動田代町推進協議会」で郷土を美しくする運動の一環として造園の計画があった。せっかくなことだから、姉妹町の蘇鉄を植えたらの考えで、与論町に相談を持ちかけたところ、トントン拍子で話は進み、一月十二日、七株の蘇鉄が届いた。

与論町長一行は一月十四日田代町を訪問され、一足先に着いた蘇鉄をみやげに、初めての田代を「自然に恵まれた人情味厚い所」と感想を述べられ、盤山を中心とした与論出身の方々と一緒にあいきつをかわされ、友好を温めておられた。

寄贈された蘇鉄は、武道場の庭の外、与論町からの希望で、大原小学校、大原中学校、盤山に植えられる見込みである。



与論より届いたソテツ

オリエンテーリングに参加しよう

二月十七日（日）教育委員会と体育協会の主催で第六回オリエンテーリング大会を開催する予定にしています。

オリエンテーリングは地図とコンパスで未知の地形を探りながら自然に親しめる楽しい競技です。よく子どものする競技と感違いされるむきがあるようですが、むしろ大人の競技です。家族グループで参加し、楽しい一日にしましょう。

冬季の省エネルギー運動展開中

石油、電力の節約につとめよう